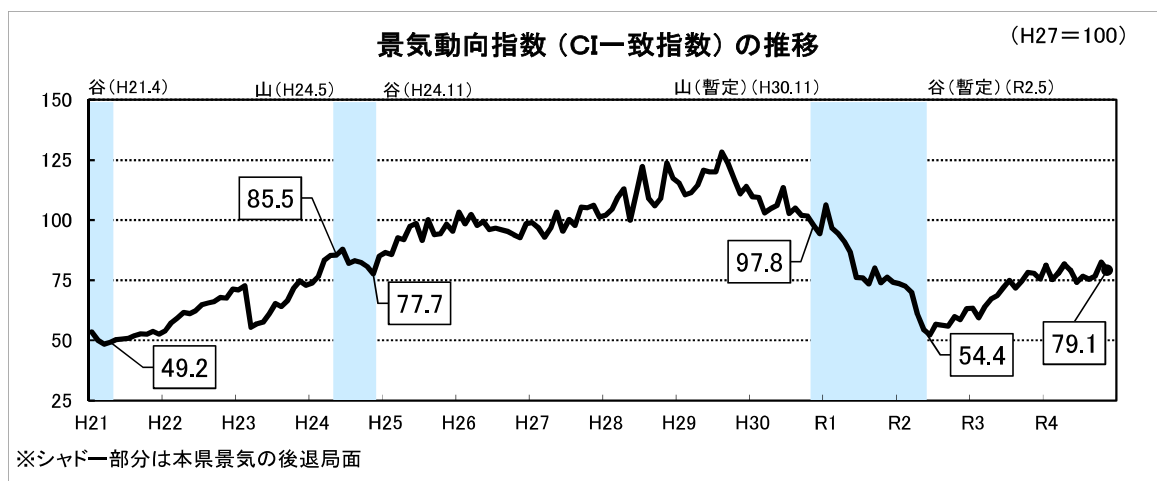


# 青森県景気動向指数

令和4年11月分



## 目次

1 CI版 .....	1
2 DI版(参考) .....	7
3 利用の手引き .....	13

※指標改訂、季節調整等により遡及改定しているため、過去に公表した数値と異なる場合があります。

令和5年2月

青森県企画政策部統計分析課

# 1 CI版

## (1) 令和4年11月分結果概要

(平成27年=100)

先行指数	112.2	(前月を8.5ポイント下回り、2カ月連続で下降した)
一致指数	79.1	(前月を3.4ポイント下回り、3カ月ぶりに下降した)
遅行指数	93.3	(前月を1.8ポイント下回り、3カ月ぶりに下降した)

11月の一致指数は、流通、雇用、生産関連の指標がマイナスになったことから下降した。  
 (足下の基調の変化をみる「3カ月後方平均」は3カ月連続で上昇した。)  
 (景気の局面の変化をみる「7カ月後方平均」は3カ月ぶりに下降した。)

## (2) 個別系列の動き

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
<b>先行系列</b>					
新規求人倍率(全数)	2.37	2カ月ぶり	乗用車新車登録届出数	-5.26	3カ月ぶり
日経商品指数(42種)	0.85	8カ月ぶり	中小企業景況DI	-4.99	3カ月ぶり
			生産財生産指数	-1.03	3カ月ぶり
			建築着工床面積	-0.24	3カ月連続
			新設住宅着工床面積	-0.18	2カ月ぶり
			企業倒産件数(逆サイクル)	-0.01	2カ月連続
<b>一致系列</b>					
百貨店・スーパー販売額(既存店)	0.34	2カ月ぶり	輸入通関実績(八戸港)	-1.29	2カ月ぶり
所定外労働時間指数(全産業)	0.11	3カ月連続	有効求人倍率(全数)	-1.05	3カ月ぶり
			投資財生産指数	-0.91	3カ月ぶり
			鉱工業生産指数	-0.59	2カ月ぶり
<b>遅行系列</b>					
県内金融機関貸出残高	0.78	6カ月連続	家計消費支出(勤労者世帯:実質)	-1.09	3カ月ぶり
有効求職者数(全数)(逆サイクル)	0.15	3カ月ぶり	常用雇用指数(全産業)	-1.01	5カ月ぶり
			りんご消費地市場価格	-0.49	3カ月ぶり
			青森市消費者物価指数(総合)	-0.02	2カ月連続
			公共工事請負金額	-0.02	4カ月連続

### (3) 採用系列の寄与度

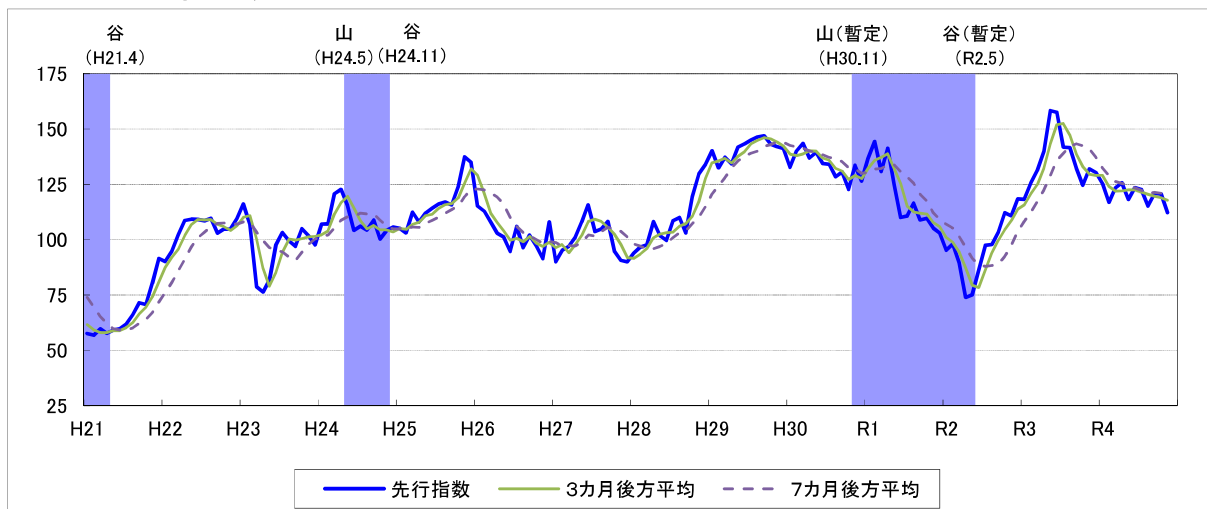
系列名		4年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
先行系列							
1. 乗用車新車登録届出台数	前月差	10.3	14.6	-15.2	37.3	4.9	-29.7
	寄与度	2.75	3.84	-3.84	5.40	1.16	-5.26
2. 生産財生産指数	前月差	-0.6	3.5	-7.9	3.2	1.2	-5.5
	寄与度	-0.04	0.74	-1.50	0.70	0.30	-1.03
3. 新規求人倍率(全数)	前月差	0.08	0.07	-0.05	0.03	-0.02	0.05
	寄与度	4.13	3.57	-2.88	1.35	-1.34	2.37
4. 日経商品指数(42種)	前月差	-0.5	-4.4	-0.5	-2.4	-2.5	0.8
	寄与度	-0.70	-4.93	-0.55	-2.48	-2.62	0.85
5. 新設住宅着工床面積	前月差	-18.7	-10.7	11.0	-15.6	4.6	-2.7
	寄与度	-1.50	-0.84	0.90	-1.19	0.41	-0.18
6. 建築着工床面積	前月差	10.0	59.0	24.6	-59.1	-23.9	-4.1
	寄与度	0.66	3.89	1.46	-3.87	-1.59	-0.24
7. 企業倒産件数(逆サイクル)	前月差	-16.7	-50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	寄与度	-1.45	-4.19	0.06	6.03	-0.01	-0.01
8. 中小企業景況DI	前月差	6.7	-10.0	-3.4	0.0	13.4	-20.0
	寄与度	1.70	-2.61	-0.80	0.04	3.50	-4.99
(一致指数トント成分)	寄与度	-0.28	-0.22	-0.30	-0.33	-0.02	-0.05
【CI先行指数】	前月差(ポイント)	5.3	-0.8	-7.4	5.6	-0.2	-8.5
		<b>123.5</b>	<b>122.7</b>	<b>115.3</b>	<b>120.9</b>	<b>120.7</b>	<b>112.2</b>
※3カ月後方平均	前月差(ポイント)	0.0	-1.0	-1.0	-0.9	-0.6	-1.1
		122.5	121.5	120.5	119.6	119.0	117.9
※7カ月後方平均	前月差(ポイント)	-1.2	-1.1	-1.5	0.6	-0.4	-1.9
		123.4	122.3	120.8	121.4	121.0	119.1
一致系列							
1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	前月差	-2.1	2.4	-0.7	3.1	-2.0	1.1
	寄与度	-0.63	0.71	-0.21	0.92	-0.63	0.34
2. 鉱工業生産指数	前月比伸び率(%)	-3.5	3.3	-4.8	-0.7	7.9	-2.4
	寄与度	-0.81	0.78	-1.10	-0.12	1.87	-0.59
3. 投資財生産指数	前月比伸び率(%)	-20.7	23.1	-7.3	3.8	35.6	-9.9
	寄与度	-1.91	1.59	-0.66	0.25	2.49	-0.91
4. 有効求人倍率(全数)	前月差	0.02	0.00	0.00	0.01	0.01	-0.01
	寄与度	1.80	-0.06	-0.01	0.87	0.90	-1.05
5. 輸入通関実績(八戸港)	前月差	-55.9	1.6	20.6	-21.2	15.0	-23.3
	寄与度	-3.02	0.10	1.15	-1.13	0.92	-1.29
6. 所定外労働時間指数(全産業)	前月差	-2.6	-6.4	-2.7	3.8	2.8	0.9
	寄与度	-0.31	-0.74	-0.32	0.44	0.34	0.11
【CI一致指数】	前月差(ポイント)	-4.9	2.4	-1.2	1.3	5.8	-3.4
		<b>74.2</b>	<b>76.6</b>	<b>75.4</b>	<b>76.7</b>	<b>82.5</b>	<b>79.1</b>
※3カ月後方平均	前月差(ポイント)	-1.3	-1.7	-1.2	0.8	2.0	1.2
		78.3	76.6	75.4	76.2	78.2	79.4
※7カ月後方平均	前月差(ポイント)	-0.6	0.2	-0.8	0.2	0.6	-0.3
		77.8	78.0	77.2	77.4	78.0	77.7
遅行系列							
1. 家計消費支出(勤労者世帯:実質)	前月比伸び率(%)	-13.8	23.2	-9.7	4.3	19.7	-7.8
	寄与度	-1.82	2.40	-1.23	0.45	2.13	-1.09
2. 常用雇用指数(全産業)	前月差	-0.7	0.4	0.5	0.0	0.3	-0.6
	寄与度	-1.13	0.70	0.89	0.08	0.58	-1.01
3. 有効求職者数(全数)(逆サイクル)	前月差	-3.7	-3.6	0.7	-0.5	-4.9	0.2
	寄与度	-1.54	-1.43	0.31	-0.16	-1.31	0.15
4. 県内金融機関貸出残高	前月差	0.1	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4
	寄与度	0.28	0.11	0.27	0.43	0.61	0.78
5. 青森市消費者物価指数(総合)	前月差	0.4	0.0	0.4	0.2	-0.3	0.0
	寄与度	0.76	-0.01	0.72	0.34	-0.62	-0.02
6. りんご消費地市場価格	前月比伸び率(%)	-4.9	-8.2	-26.4	19.8	15.9	-2.1
	寄与度	-1.00	-1.52	-2.56	2.92	2.44	-0.49
7. 公共工事請負金額	前月差	-55.8	22.5	-3.2	-7.4	-1.4	-1.4
	寄与度	-1.57	0.63	-0.07	-0.20	-0.02	-0.02
(一致指数トント成分)	寄与度	-0.21	-0.16	-0.22	-0.25	-0.01	-0.04
【CI遅行指数】	前月差(ポイント)	-6.3	0.7	-1.9	3.7	3.8	-1.8
		<b>88.8</b>	<b>89.5</b>	<b>87.6</b>	<b>91.3</b>	<b>95.1</b>	<b>93.3</b>
※3カ月後方平均	前月差(ポイント)	-4.7	-3.4	-2.5	0.9	1.8	1.9
		94.5	91.1	88.6	89.5	91.3	93.2
※7カ月後方平均	前月差(ポイント)	-2.2	-2.3	-1.8	-1.9	-1.1	-0.9
		99.5	97.2	95.4	93.5	92.4	91.5

## (4) グラフ

### ①各指数のグラフ

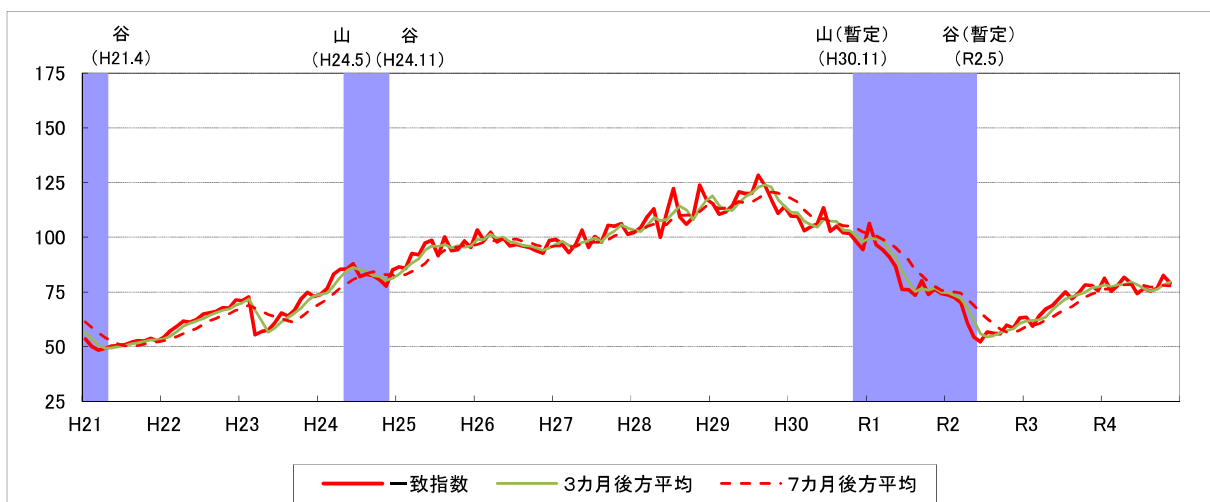
#### 先行指数

(平成27年=100)



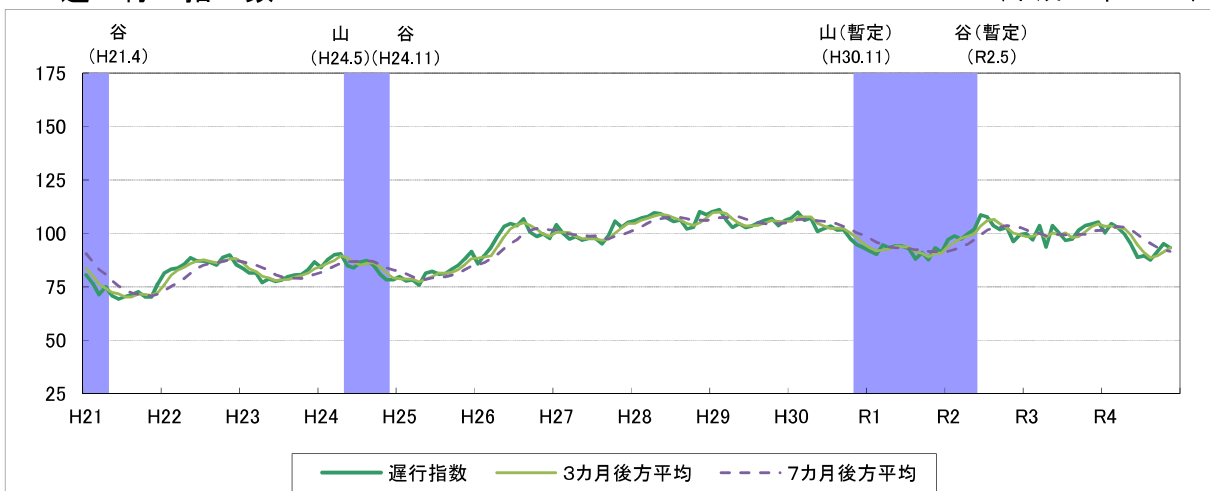
#### 一致指数

(平成27年=100)



#### 遅行指数

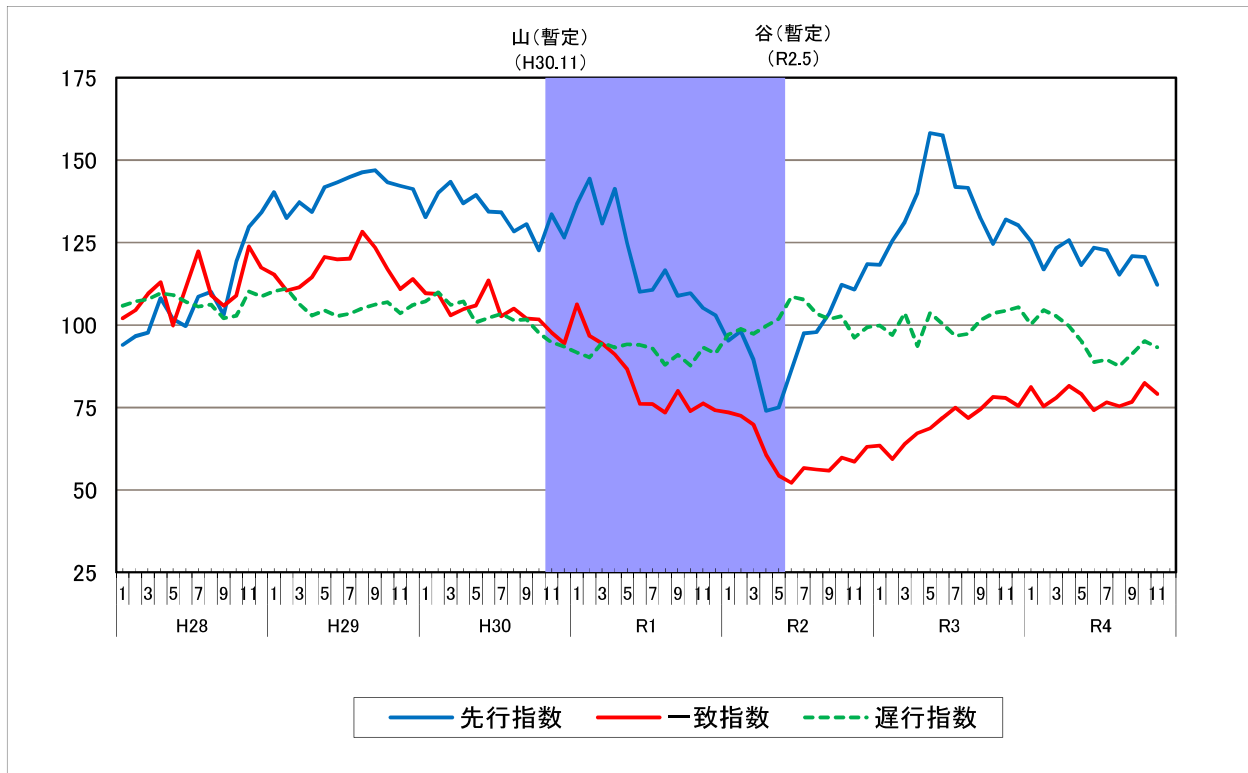
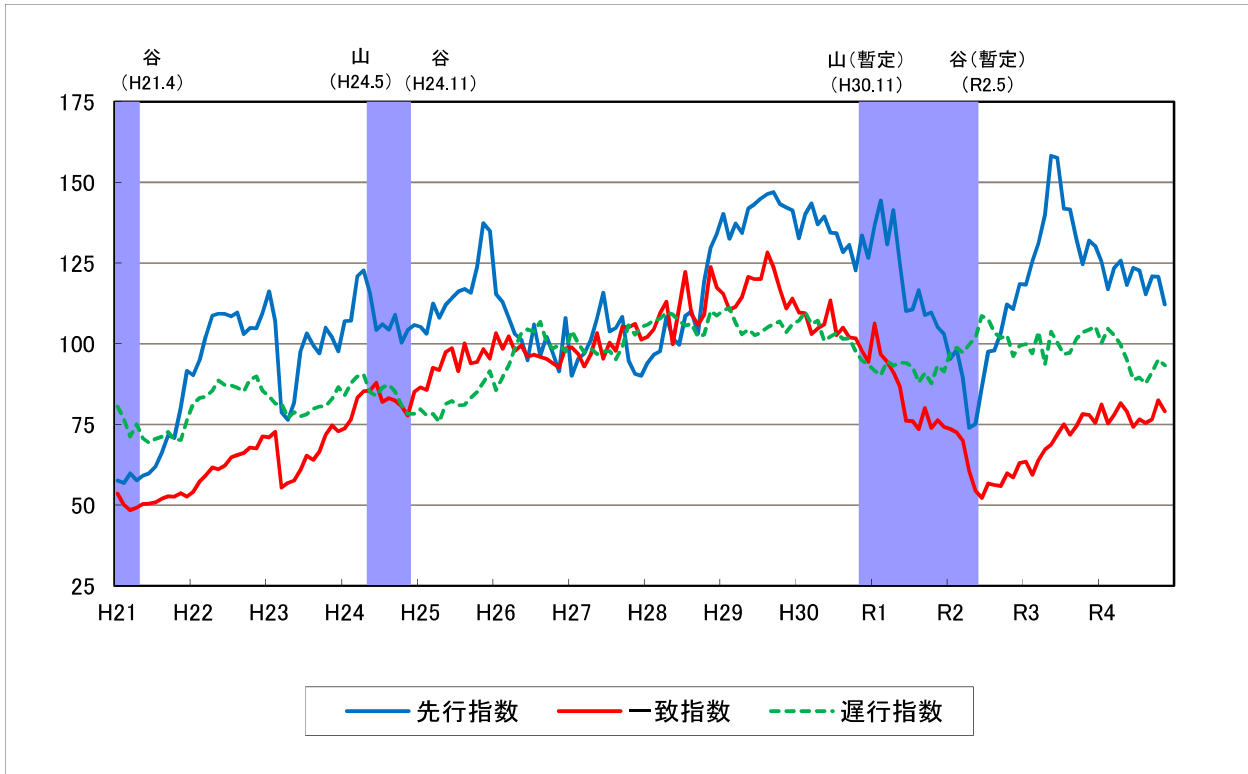
(平成27年=100)



※シャド一部分は本県景気の後退局面。

②各指数のグラフ（3指数）

（平成27年=100）



## (5) CI時系列表

### 先行指数

(平成27年=100)

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H24	107.0	107.2	120.9	122.7	115.5	104.3	106.1	104.4	109.0	100.3	104.3	105.8
H25	105.3	103.1	112.5	108.1	112.1	114.2	116.2	117.0	115.8	124.0	137.4	135.0
H26	115.3	112.9	108.1	103.0	101.2	94.8	106.0	96.4	102.1	97.1	91.4	108.0
H27	90.1	95.4	97.0	101.1	108.0	115.8	103.8	104.9	108.3	94.8	90.7	90.1
H28	94.0	96.6	97.7	108.2	101.8	99.7	108.6	110.1	103.1	119.3	129.7	134.1
H29	140.3	132.5	137.3	134.3	141.9	143.3	145.0	146.4	147.0	143.3	142.2	141.3
H30	132.7	140.1	143.5	137.0	139.5	134.4	134.2	128.4	130.6	122.7	133.6	126.6
R1	136.7	144.4	130.8	141.4	124.8	110.1	110.7	116.6	108.9	109.7	105.2	103.0
R2	95.3	98.1	89.5	74.0	75.1	86.3	97.5	97.9	103.5	112.2	110.8	118.5
R3	118.3	125.6	131.2	140.1	158.3	157.6	141.9	141.6	132.4	124.6	132.0	130.3
R4	125.4	116.9	123.4	125.8	118.2	123.5	122.7	115.3	120.9	120.7	112.2	

### 一致指数

(平成27年=100)

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H24	73.8	76.5	83.2	85.3	85.5	87.9	82.0	83.1	82.4	80.7	77.7	85.1
H25	86.5	85.7	92.6	91.9	97.4	98.6	91.5	100.1	93.9	94.4	98.3	95.4
H26	103.3	98.4	102.3	97.8	99.5	96.0	96.6	95.9	95.3	93.9	92.7	98.5
H27	98.9	96.8	92.9	96.6	103.3	95.4	100.3	97.8	105.4	105.1	106.2	101.3
H28	102.1	104.5	109.5	113.0	99.9	111.3	122.3	109.1	105.9	109.0	123.8	117.4
H29	115.4	110.5	111.5	114.5	120.7	120.0	120.1	128.3	123.6	117.0	110.9	114.0
H30	109.7	109.5	103.0	104.8	106.0	113.5	102.7	105.0	102.0	101.7	97.8	94.4
R1	106.3	96.7	94.4	91.1	86.7	76.1	76.0	73.5	80.1	73.9	76.3	74.2
R2	73.6	72.5	69.9	60.7	54.4	52.2	56.7	56.2	55.9	59.8	58.6	63.1
R3	63.4	59.4	64.0	67.2	68.7	71.9	75.0	71.8	74.5	78.2	77.9	75.5
R4	81.2	75.3	78.0	81.6	79.1	74.2	76.6	75.4	76.7	82.5	79.1	

### 遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H24	84.0	87.7	89.9	90.5	85.0	83.9	86.5	87.3	85.2	80.9	78.3	78.3
H25	79.7	77.8	78.3	75.8	81.3	82.2	80.9	81.1	83.2	85.1	88.0	91.5
H26	85.7	89.6	93.3	98.6	103.3	104.5	103.7	106.8	100.6	98.5	99.7	97.6
H27	104.0	100.1	97.3	98.5	96.8	97.6	97.7	95.2	99.0	105.7	102.8	105.2
H28	105.9	107.2	107.8	109.7	109.1	107.1	105.6	106.2	102.1	102.8	110.2	108.7
H29	110.3	111.1	106.4	102.9	104.5	102.7	103.5	105.1	106.2	106.9	103.6	106.1
H30	107.2	109.9	106.1	107.2	100.9	102.2	103.4	101.5	101.7	97.6	94.8	93.5
R1	91.7	90.2	94.6	93.2	94.2	94.0	92.9	88.0	91.0	87.7	93.2	91.4
R2	97.1	98.8	97.3	99.7	101.9	108.6	107.7	103.5	101.8	102.7	96.2	99.4
R3	99.9	97.0	103.7	93.6	103.7	100.3	96.7	97.3	101.6	103.6	104.4	105.4
R4	100.2	104.6	102.7	99.7	95.1	88.8	89.5	87.6	91.3	95.1	93.3	

## (6) 個別系列の値

系 列 名			単位	4年					
				6月	7月	8月	9月	10月	11月
先 行 系 列	1. 乗用車新車登録届出台数	前	%	△ 10.4	4.2	△ 11.0	26.3	31.2	1.5
	2. 生産財生産指数	前	%	△ 10.7	△ 7.2	△ 15.1	△ 11.9	△ 10.7	△ 16.2
	3. 新規求人倍率（全数）	季	倍	1.86	1.93	1.88	1.91	1.89	1.94
	4. 日経商品指数（42種）	前	%	22.6	18.2	17.7	15.3	12.8	13.6
	5. 新設住宅着工床面積	前	%	△ 5.4	△ 16.1	△ 5.1	△ 20.7	△ 16.1	△ 18.8
	6. 建築着工床面積	前	%	△ 35.0	24.0	48.6	△ 10.5	△ 34.4	△ 38.5
	7. 企業倒産件数（逆サイクル）	前	%	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	8. 中小企業景況D I	原	—	△ 23.3	△ 33.3	△ 36.7	△ 36.7	△ 23.3	△ 43.3
一 致 系 列	1. 百貨店・スーパー販売額（既存店）	前	%	△ 0.7	1.7	1.0	4.1	2.1	3.2
	2. 鉱工業生産指数	季	—	93.0	96.1	91.5	90.9	98.1	95.7
	3. 投資財生産指数	季	—	60.2	74.1	68.7	71.3	96.7	87.1
	4. 有効求人倍率（全数）	季	倍	1.17	1.17	1.17	1.18	1.19	1.18
	5. 輸入通関実績（八戸港）	前	100万円	48.3	49.9	70.5	49.3	64.3	41.0
	6. 所定外労働時間指数（全産業）	前	%	3.0	△ 3.4	△ 6.1	△ 2.3	0.5	1.4
遅 行 系 列	1. 家計消費支出（勤労者世帯:実質）	季	円	226,769	279,301	252,265	263,118	314,960	290,312
	2. 常用雇用指数（全産業）	前	%	△ 2.3	△ 1.9	△ 1.4	△ 1.4	△ 1.1	△ 1.7
	3. 有効求職者数（全数）（逆サイクル）	前	%	0.0	3.6	2.9	3.4	8.3	8.1
	4. 県内金融機関貸出残高	前	%	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	0.1	0.4	0.8
	5. 青森市消費者物価指数（総合）	前	%	3.5	3.5	3.9	4.1	3.8	3.8
	6. りんご消費地市場価格	季	円	404	371	273	327	379	371
	7. 公共工事請負金額	前	%	△ 35.7	△ 13.2	△ 16.4	△ 23.8	△ 25.2	△ 26.6

季=センサス局法 X-1 2-ARIMAによる季節調整値

前=前年同月比

原=原データ

※ 季節調整値と前年同月比は、統計分析課において計算したものです。  
従って、他の報告書等で公表された数字とは異なりますので、ご注意ください。

## 2 DI版（参考）

### （1）令和4年11月分結果概要

先行指数	37.5%	（6カ月ぶりに50%を下回った）
一致指数	66.7%	（2カ月連続で50%を上回った）
遅行指数	71.4%	（2カ月連続で50%を上回った）

11月の一致指数は消費、生産関連の指標がプラスになったことから50%を上回った。

### （2）個別系列の動き

プラスの指標		マイナスの指標	
<b>先行系列</b>			
乗用車新車登録届出台数	6カ月連続	生産財生産指数	15カ月連続
新規求人倍率（全数）	6カ月連続	日経商品指数（42種）	10カ月連続
企業倒産件数	3カ月連続	新設住宅着工床面積	4カ月連続
		建築着工床面積	5カ月ぶり
		中小企業景況DI	2カ月ぶり
<b>一致系列</b>			
百貨店・スーパー販売額（既存店）	8カ月連続	輸入通関実績（八戸港）	6カ月連続
鉱工業生産指数	2カ月連続	所定外労働時間指数（全産業）	2カ月連続
投資財生産指数	2カ月連続		
有効求人倍率（全数）	26カ月連続		
<b>遅行系列</b>			
家計消費支出（勤労者世帯：実質）	3カ月連続	有効求職者数（全数）	7カ月連続
常用雇用指数（全産業）	2カ月連続	りんご消費地市場価格	8カ月連続
県内金融機関貸出残高	2カ月連続		
青森市消費者物価指数（総合）	2カ月連続		
公共工事請負金額	3カ月ぶり		



### (3) 変化方向表

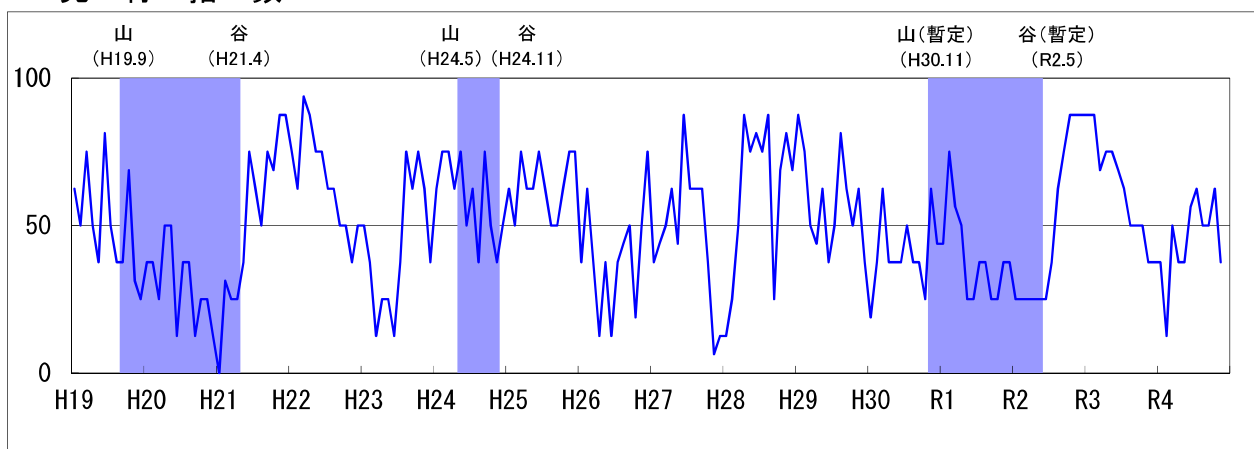
系 列 名	3年		4年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
<b>先 行 系 列</b>													
1. 乗用車新車登録届出台数	-	+	-	-	+	-	-	+	+	+	+	+	+
2. 生産財生産指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3. 新規求人倍率（全数）	-	+	+	-	+	+	-	+	+	+	+	+	+
4. 日経商品指数（42種）	+	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5. 新設住宅着工床面積	+	-	-	-	+	-	+	+	+	-	-	-	-
6. 建築着工床面積	+	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-
7. 企業倒産件数	-	-	-	0	+	+	+	0	-	-	+	+	+
8. 中小企業景況D I	-	-	-	0	-	+	+	+	+	+	-	+	-
<b>先 行 指 数</b>	37.5	37.5	37.5	12.5	50.0	37.5	37.5	56.3	62.5	50.0	50.0	62.5	37.5
<b>一 致 系 列</b>													
1. 百貨店・スーパー販売額（既存店）	-	-	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
2. 鉱工業生産指数	+	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
3. 投資財生産指数	+	-	+	-	-	-	-	-	-	+	-	+	+
4. 有効求人倍率（全数）	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5. 輸入通関実績（八戸港）	+	-	+	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-
6. 所定外労働時間指数（全産業）	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	+	-	-
<b>一 致 指 数</b>	66.7	16.7	83.3	16.7	33.3	50.0	66.7	50.0	33.3	50.0	50.0	66.7	66.7
<b>遅 行 系 列</b>													
1. 家計消費支出（勤労者世帯:実質）	-	+	-	-	-	-	-	-	+	-	+	+	+
2. 常用雇用指数（全産業）	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
3. 有効求職者数（全数）	+	+	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-
4. 県内金融機関貸出残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
5. 青森市消費者物価指数（総合）	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	+
6. りんご消費地市場価格	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
7. 公共工事請負金額	-	-	-	+	-	-	+	+	-	+	-	-	+
<b>遅 行 指 数</b>	42.9	71.4	42.9	42.9	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3	57.1	71.4

※1 5カ月前と比べて改善した指標をプラス（+）、悪化した指標をマイナス（-）としています。  
先行、一致、遅行のD Iは、それぞれの系列数のうち、プラスの指標が占める割合をあらわしています。

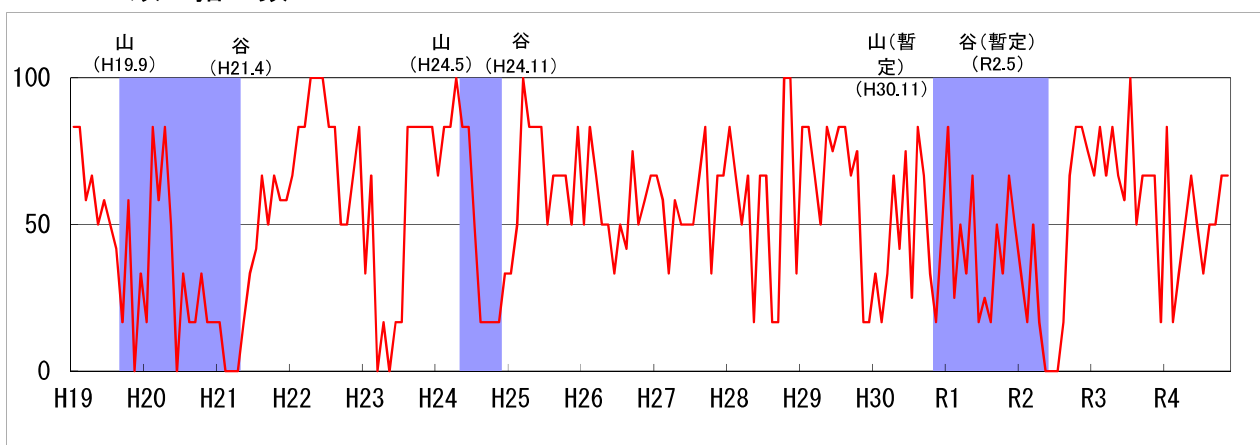
## (4) グラフ

### ①各指数のグラフ

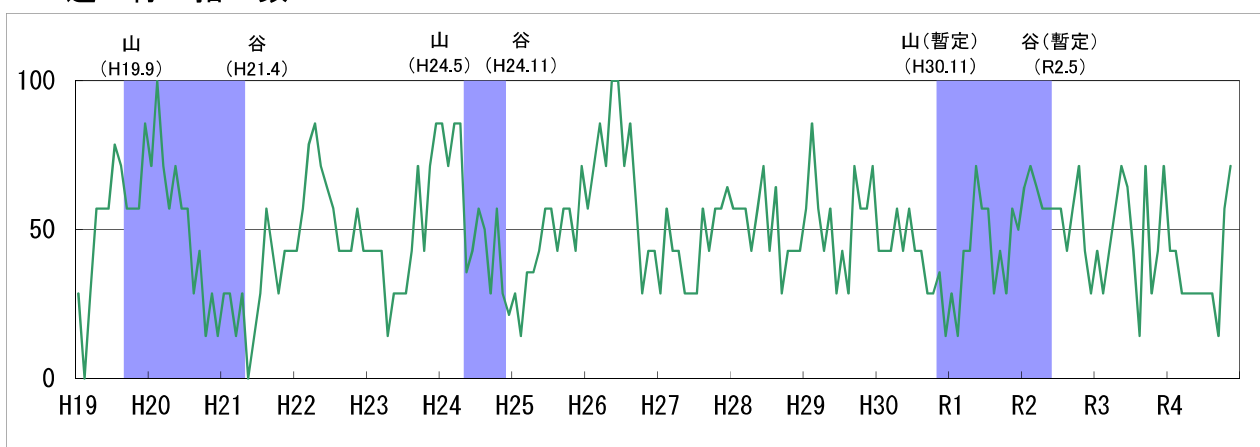
#### 先行指数



#### 一致指数

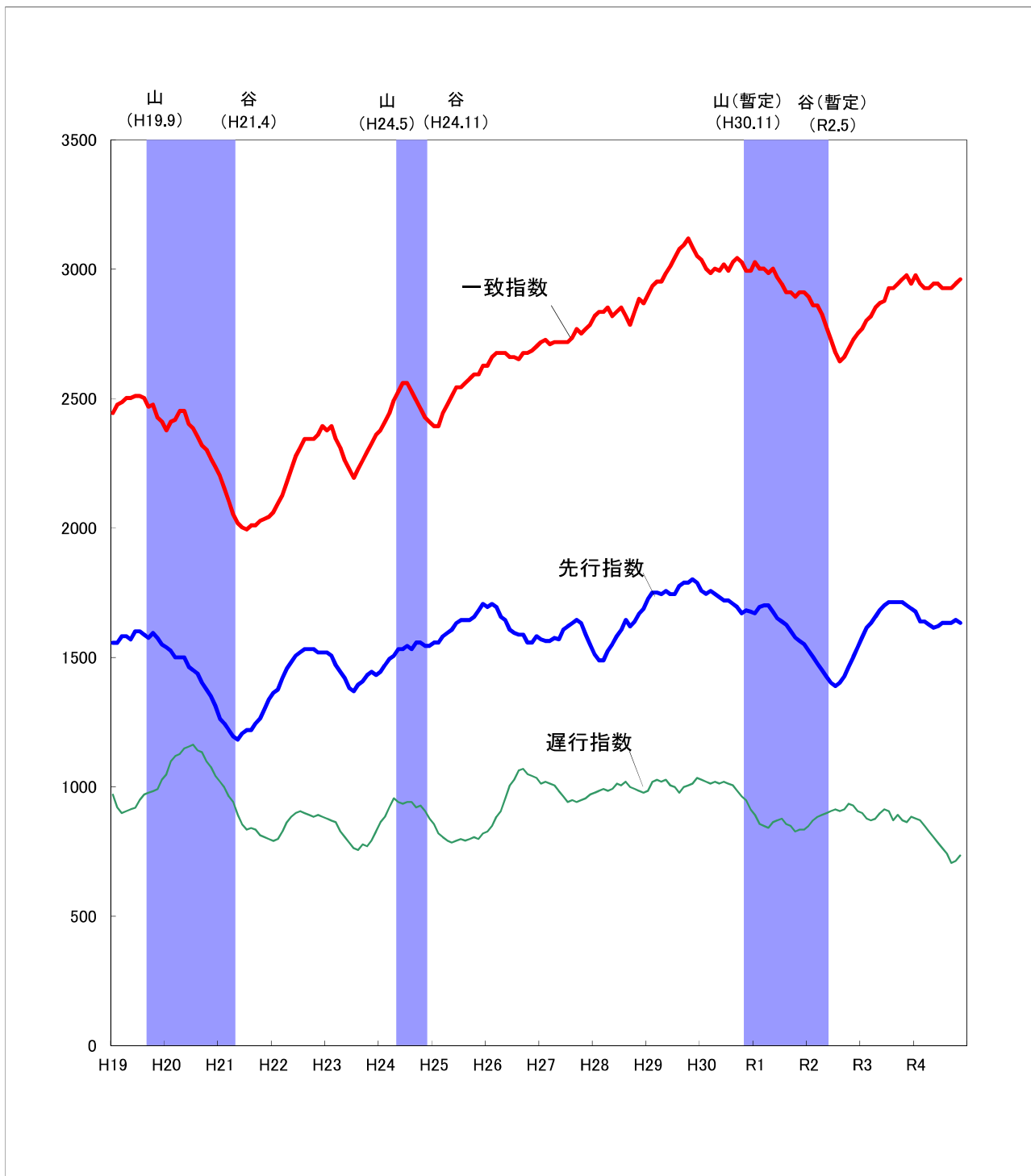


#### 遅行指数



※シャドー部分は本県景気の後退局面。

## ②累積DIのグラフ



※累積DI = 先月までの累積DI + 今月のDI - 50 (昭和35年6月を0としています)

月々のDIから50を引き、累積したものですから、DIが50%を上回れば上昇し、50%を下回れば下降します。

グラフにすると、景気の基調的な動きが視覚的にわかりやすくなります。

## (5) 時系列表

### 先行指数

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H18		62.5	75.0	62.5	50.0	50.0	37.5	37.5	62.5	50.0	62.5	62.5	75.0
H19		62.5	50.0	75.0	50.0	37.5	81.3	50.0	37.5	37.5	68.8	31.3	25.0
H20		37.5	37.5	25.0	50.0	50.0	12.5	37.5	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5
H21		0.0	31.3	25.0	25.0	37.5	75.0	62.5	50.0	75.0	68.8	87.5	87.5
H22		75.0	62.5	93.8	87.5	75.0	75.0	62.5	62.5	50.0	50.0	37.5	50.0
H23		50.0	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	37.5	75.0	62.5	75.0	62.5	37.5
H24		62.5	75.0	75.0	62.5	75.0	50.0	62.5	37.5	75.0	50.0	37.5	50.0
H25		62.5	50.0	75.0	62.5	62.5	75.0	62.5	50.0	50.0	62.5	75.0	75.0
H26		37.5	62.5	37.5	12.5	37.5	12.5	37.5	43.8	50.0	18.8	50.0	75.0
H27		37.5	43.8	50.0	62.5	43.8	87.5	62.5	62.5	62.5	37.5	6.3	12.5
H28		12.5	25.0	50.0	87.5	75.0	81.3	75.0	87.5	25.0	68.8	81.3	68.8
H29		87.5	75.0	50.0	43.8	62.5	37.5	50.0	81.3	62.5	50.0	62.5	37.5
H30		18.8	37.5	62.5	37.5	37.5	37.5	50.0	37.5	37.5	25.0	62.5	43.8
R1		43.8	75.0	56.3	50.0	25.0	25.0	37.5	37.5	25.0	25.0	37.5	37.5
R2		25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	37.5	62.5	75.0	87.5	87.5	87.5
R3		87.5	87.5	68.8	75.0	75.0	68.8	62.5	50.0	50.0	50.0	37.5	37.5
R4		37.5	12.5	50.0	37.5	37.5	56.3	62.5	50.0	50.0	62.5	37.5	

### 一致指数

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H18		66.7	83.3	83.3	16.7	33.3	33.3	66.7	50.0	91.7	83.3	83.3	66.7
H19		83.3	83.3	58.3	66.7	50.0	58.3	50.0	41.7	16.7	58.3	0.0	33.3
H20		16.7	83.3	58.3	83.3	50.0	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7
H21		16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	41.7	66.7	50.0	66.7	58.3	58.3
H22		66.7	83.3	83.3	100.0	100.0	100.0	83.3	83.3	50.0	50.0	66.7	83.3
H23		33.3	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3
H24		66.7	83.3	83.3	100.0	83.3	83.3	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3
H25		33.3	50.0	100.0	83.3	83.3	83.3	50.0	66.7	66.7	66.7	50.0	83.3
H26		50.0	83.3	66.7	50.0	50.0	33.3	50.0	41.7	75.0	50.0	58.3	66.7
H27		66.7	58.3	33.3	58.3	50.0	50.0	50.0	66.7	83.3	33.3	66.7	66.7
H28		83.3	66.7	50.0	66.7	16.7	66.7	66.7	16.7	16.7	100.0	100.0	33.3
H29		83.3	83.3	66.7	50.0	83.3	75.0	83.3	83.3	66.7	75.0	16.7	16.7
H30		33.3	16.7	33.3	66.7	41.7	75.0	25.0	83.3	66.7	33.3	16.7	50.0
R1		83.3	25.0	50.0	33.3	66.7	16.7	25.0	16.7	50.0	33.3	66.7	50.0
R2		33.3	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	83.3	83.3	75.0
R3		66.7	83.3	66.7	83.3	66.7	58.3	100.0	50.0	66.7	66.7	66.7	16.7
R4		83.3	16.7	33.3	50.0	66.7	50.0	33.3	50.0	50.0	66.7	66.7	

### 遅行指数

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H18		64.3	57.1	71.4	71.4	85.7	85.7	42.9	71.4	50.0	64.3	21.4	57.1
H19		28.6	0.0	28.6	57.1	57.1	57.1	78.6	71.4	57.1	57.1	57.1	85.7
H20		71.4	100.0	71.4	57.1	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3
H21		28.6	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	57.1	42.9	28.6	42.9	42.9
H22		42.9	57.1	78.6	85.7	71.4	64.3	57.1	42.9	42.9	42.9	57.1	42.9
H23		42.9	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9	71.4	42.9	71.4	85.7
H24		85.7	71.4	85.7	85.7	35.7	42.9	57.1	50.0	28.6	57.1	28.6	21.4
H25		28.6	14.3	35.7	35.7	42.9	57.1	57.1	42.9	57.1	57.1	42.9	71.4
H26		57.1	71.4	85.7	71.4	100.0	100.0	71.4	85.7	57.1	28.6	42.9	42.9
H27		28.6	57.1	42.9	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	42.9	57.1	57.1	64.3
H28		57.1	57.1	57.1	42.9	57.1	71.4	42.9	64.3	28.6	42.9	42.9	42.9
H29		57.1	85.7	57.1	42.9	57.1	28.6	42.9	28.6	71.4	57.1	57.1	71.4
H30		42.9	42.9	42.9	57.1	42.9	57.1	42.9	42.9	28.6	28.6	35.7	14.3
R1		28.6	14.3	42.9	42.9	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	28.6	57.1	50.0
R2		64.3	71.4	64.3	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	57.1	71.4	42.9	28.6
R3		42.9	28.6	42.9	57.1	71.4	64.3	42.9	14.3	71.4	28.6	42.9	71.4
R4		42.9	42.9	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3	57.1	71.4	

## (6) 個別系列の値

系 列 名		単位	4年						
			6月 (比較月)	7月	8月	9月	10月	11月	
先 行 系 列	1. 乗用車新車登録届出台数	前	%	△ 10.4	4.2	△ 11.0	26.3	31.2	1.5
	2. 生産財生産指数	前	%	△ 10.7	△ 7.2	△ 15.1	△ 11.9	△ 10.7	△ 16.2
	3. 新規求人倍率 (全数)	季	倍	1.86	1.93	1.88	1.91	1.89	1.94
	4. 日経商品指数 (42種)	前	%	22.6	18.2	17.7	15.3	12.8	13.6
	5. 新設住宅着工床面積	前	%	△ 5.4	△ 16.1	△ 5.1	△ 20.7	△ 16.1	△ 18.8
	6. 建築着工床面積	前	%	△ 35.0	24.0	48.6	△ 10.5	△ 34.4	△ 38.5
	7. 企業倒産件数 (逆サイクル)	前	%	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	8. 中小企業景況DI	原	—	△ 23.3	△ 33.3	△ 36.7	△ 36.7	△ 23.3	△ 43.3
一 致 系 列	1. 百貨店・スーパー販売額 (既存店)	前	%	△ 0.7	1.7	1.0	4.1	2.1	3.2
	2. 鉱工業生産指数	季	—	93.0	96.1	91.5	90.9	98.1	95.7
	3. 投資財生産指数	季	—	60.2	74.1	68.7	71.3	96.7	87.1
	4. 有効求人倍率 (全数)	季	倍	1.17	1.17	1.17	1.18	1.19	1.18
	5. 輸入通関実績 (八戸港)	前	100万円	48.3	49.9	70.5	49.3	64.3	41.0
	6. 所定外労働時間指数 (全産業)	前	%	3.0	△ 3.4	△ 6.1	△ 2.3	0.5	1.4
遅 行 系 列	1. 家計消費支出 (勤労者世帯:実質)	季	円	226,769	279,301	252,265	263,118	314,960	290,312
	2. 常用雇用指数 (全産業)	前	%	△ 2.3	△ 1.9	△ 1.4	△ 1.4	△ 1.1	△ 1.7
	3. 有効求職者数 (全数) (逆サイクル)	前	%	0.0	3.6	2.9	3.4	8.3	8.1
	4. 県内金融機関貸出残高	前	%	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	0.1	0.4	0.8
	5. 青森市消費者物価指数 (総合)	前	%	3.5	3.5	3.9	4.1	3.8	3.8
	6. りんご消費地市場価格	季	円	404	371	273	327	379	371
	7. 公共工事請負金額	前	%	△ 35.7	△ 13.2	△ 16.4	△ 23.8	△ 25.2	△ 26.6

季=センサス局法X-12-ARIMAによる季節調整値

前=前年同月比

原=原データ

※ 季節調整値と前年同月比は、統計分析課において計算したものです。

従って、他の報告書等で公表された数字とは異なりますので、ご注意ください。

### 3 利用の手引き

#### (1) 青森県景気動向指数について

景気動向指数は、生産、雇用、消費など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に用いるために作成された指標である。

景気動向指数には、構成する指標の動きを合成することで景気変動の大きさやテンポ（量感）の測定に用いるC I（コンジット・インデックス）と、構成する指標のうち、改善している指標の割合を算出することで、景気各経済部門への波及の度合い（波及度）を測定するD I（ディフュージョン・インデックス）がある。C IとD Iにはそれぞれ、景気に対し先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3つの指数がある。

本県では、昭和56～57年度に開発し（昭和35年まで遡及）、平成22年12月分まではD Iを中心とした公表形態としていたが、平成23年1月分以降、C I中心の公表形態に移行し（平成16年まで遡及）、D Iは参考指標として引き続き作成・公表している。なお、景気基準日付（景気の山・谷）の設定には、従前どおりヒストリカルD Iを用いている。

##### ① C Iの概要と利用の仕方

<目的>

C Iは、主として景気変動の大きさやテンポ（量感）を測定することを目的としている。

<利用の仕方>

1. C Iが上昇している時が景気の拡張期（好況）であり、低下している時が景気の後退期（不況）である。
2. C I一致指数の動きと景気の転換点（景気の山・谷）は概ね一致する。
3. C Iの変化の大きさから、景気の拡張・後退のテンポ（量感、勢い）を読み取る。
4. 月々のC Iの動きについては、極端な外れ値（異常値）の影響は除かれているが、不規則な動きも含まれているため、一定期間の平均値でならした動きをみる必要がある。
5. 「3カ月後方移動平均」の符号の変化により、基調の変化（改善⇔足踏み、悪化⇔下げ止まり）を、「7カ月後方移動平均」の符号の変化により、景気の局面変化（景気拡張期⇔景気後退期）をみる。

※C Iによる基調判断は行っていない。（青森県経済統計報告において基調判断している）

##### ② D Iの概要と利用の仕方

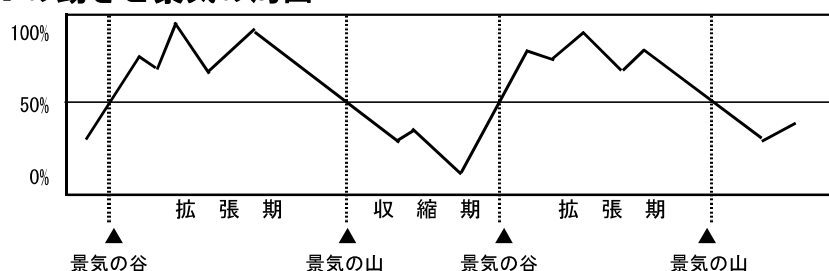
<目的>

D Iは、景気拡張の動きの各経済部門への波及度合いを測定することを主な目的とする。

<利用の仕方>

1. D Iは、0から100%の間で変動する。
2. D Iが、50%ラインを上回っている期間が景気の拡張期（好況）であり、50%ラインを下回っている期間が景気の収縮期（不況）である。
3. D Iが、50%ラインを上から下に切る時点が「景気の山」（拡張期から収縮期への転換点）、50%ラインを下から上に切る時点が「景気の谷」（収縮期から拡張期への転換点）である。

##### D Iの動きと景気の局面



③ 青森県と全国の景気基準日付一覧表（ヒストリカルD Iにより設定）

循環 区分 (国)	青 森 県					全 国				
	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
4	S37.6	S37.12		6カ月		S36.12	S37.10	42カ月	10カ月	52カ月
5	S39.2	S40.1	14カ月	11カ月	25カ月	S39.10	S40.10	24カ月	12カ月	36カ月
	S44.1	S44.9	48カ月	8カ月	56カ月					
6	S46.2	S47.4	17カ月	14カ月	31カ月	S45.7	S46.12	57カ月	17カ月	74カ月
7	S48.9	S50.3	17カ月	18カ月	35カ月	S48.11	S50.3	23カ月	16カ月	39カ月
8	S51.12	S53.3	21カ月	15カ月	36カ月	S52.1	S52.10	22カ月	9カ月	31カ月
9	S55.1	S57.3	22カ月	26カ月	48カ月	S55.2	S58.2	28カ月	36カ月	64カ月
10	S60.4	S62.3	37カ月	23カ月	60カ月	S60.6	S61.11	28カ月	17カ月	45カ月
11	H3.3	H6.1	48カ月	34カ月	82カ月	H3.2	H5.10	51カ月	32カ月	83カ月
12	H9.3	H11.2	38カ月	23カ月	61カ月	H9.5	H11.1	43カ月	20カ月	63カ月
13	H12.8	H14.3	18カ月	19カ月	37カ月	H12.11	H14.1	22カ月	14カ月	36カ月
14	H19.9	H21.4	66カ月	19カ月	85カ月	H20.2	H21.3	73カ月	13カ月	86カ月
15	H24.5	H24.11	37カ月	6カ月	43カ月	H24.3	H24.11	36カ月	8カ月	44カ月
16	(H30.11)	(R2.5)	(72カ月)	(18カ月)	(90カ月)	H30.10	R2.5	71カ月	19カ月	90カ月

※（ ）は暫定設定。

※全国値は内閣府経済社会総合研究所公表資料による。

## (2) 青森県景気動向指数採用系列の概要

	分野	系列名		作成機関	資料出所	備考
先行系列	消費	1. 乗用車新車登録届出台数	前	青森県自動車会議所	「自動車登録状況新車月報」	普通＋小型＋軽乗用
	生産	2. 生産財生産指数	前	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	平成27年(2015年)=100
	雇用	3. 新規求人倍率(全数)	季	青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	
	投資	4. 新設住宅着工床面積	前	県建築住宅課	「建築着工統計月報」	
		5. 建築着工床面積	前	県建築住宅課	「建築着工統計月報」	鉱工業＋商業＋サービス業(3カ月後方平均)
	企業活動	6. 企業倒産件数	前	東京商工リサーチ青森・八戸支店	「青森県企業倒産状況」	負債総額1千万円以上 ※逆サイクル(3カ月後方平均)
		7. 中小企業景況DI	原	青森県中小企業団体中央会	「中小企業あおもり」	前年同月と比べた景況感
	物価	8. 日経商品指数(42種)	前	日本経済新聞社	「日本経済新聞」	
一致系列	消費	1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	前	東北経済産業局	「東北地域百貨店・スーパー販売額動向」	既存店 前年同月比
	生産	2. 鉱工業生産指数	季	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	平成27年(2015年)=100
		3. 投資財生産指数	季	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	平成27年(2015年)=100
	雇用	4. 有効求人倍率(全数)	季	青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	
		5. 所定外労働時間指数	前	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業 令和2年(2020年)=100
	物流	6. 輸入通関実績(八戸港)	前	財務省	「普通貿易統計」	3カ月後方平均
遅行系列	消費	1. 家計消費支出(勤労者世帯)	季	総務省	「家計調査」	青森市消費者物価指数により実質化
	雇用	2. 有効求職者数(全数)	前	青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	※逆サイクル
		3. 常用雇用指数	前	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業 令和2年(2020年)=100
	金融	4. 県内金融機関貸出残高	前	日本銀行青森支店	「県内金融経済概況」	県内所在の国内銀行、信用金庫、信用組合の合計(県内店舗ベース)
	物価	5. 青森市消費者物価指数(総合)	前	総務省	「消費者物価指数」	令和2年(2020年)=100
	農林	6. りんご消費地市場価格	季	県りんご果樹課	「りんごの販売価格」	
	財政	7. 公共工事請負金額	前	東日本建設業保証(株)青森支店	「青森県内の公共工事の動向」	

※季=センサス局法X-1 2-ARIMAによる季節調整値、前=前年同月比、原=原データ

※建築着工床面積については、建築物用途分類が改定されたため、平成15年4月分まで新分類による遡及改定を行っています。



### (3) 青森県景気動向指数採用系列の変遷

系 列 名		採 用 期 間		
先 行 系 列	乗用車新車登録台数	S42.9	H5.12	
	○乗用車新車登録届出台数		H6.1	
	百貨店販売額(売場面積当・実質)	S46.6	S56.12	
	勤労者世帯家計消費支出(実質)	S38.8	S56.12	
	窯業・土石製品生産指数	S37.9	S56.12	
	パルプ・紙生産指数		S57.1 H5.12	
	○生産財生産指数		H6.1	
	新規求人人数(常用)	S37.9	S56.12	
	新規求人倍率(常用)		S57.1 H5.12	
	○新規求人倍率(全数)		H6.1	
	所定外労働時間指数(全産業)		H6.1 H27.12	
	所定外労働時間数(製造業)		S50.1-S56.12	
	入職率(製造業)	S35.6	S49.12	
	新設住宅着工戸数		S57.1 H5.12	
	○新設住宅着工床面積		H6.1	
	○建築着工床面積		H6.1	
	○企業倒産件数		S57.1	
	企業倒産負債額			
	○中小企業景況DI		H6.1	
	取引停止処分(枚数)	S35.9	S56.12	
	○日経商品指数(42種)		S57.1 H5.12 H6.1	
	株式売買高		S57.1 H5.12	
	信金・労金貸出残高	S36.6	H5.12	
	不渡手形発生率(金額)	S35.6	S56.12	
	一 致 系 列	○百貨店・スーパー販売額(既存店)		H6.1
		百貨店販売額(実質)		S57.1 H5.12
		旅行取扱高		H8.4 R4.1
		○鉱工業生産指数	S35.6	
		○投資財生産指数		H6.1
		電気機械生産指数		S57.1 H5.12
		木材・木製品生産指数	S35.6	S56.12
		食料品工業生産指数	S35.6	S56.12
		大口電力使用量	S35.6	H27.12
		新規求人倍率	S37.9	S50.12
		○有効求人倍率(全数)		H6.1
		有効求人人数(常用)		S51.1 H5.12
		有効求人人数(全数)		
		総実労働時間数(全産業)		
所定外労働時間数(製造業)		S35.6	S49.12	
○所定外労働時間指数(全産業)			H6.1	
入職率(製造業)			S50.1 H5.12	
新設住宅着工床面積		S35.6	S56.12	
建築着工床面積(鉱工業用)		S35.6	H5.12	
○輸入通関実績(八戸港)			H6.1	
海上出入貨物量(八戸港)				
東北自動車道IC利用台数			H6.1 H27.12	
日銀券月中発行高				
遅 行 系 列	○家計消費支出(勤労者世帯:実質)		H6.1	
	有効求人人数(常用)	S37.9	S50.12	
	雇用保険受給者実人員		S57.1 H5.12	
	○有効求職者数(全数)		H6.1	
	現金給与総額(全産業)		H6.1 H27.12	
	総実労働時間数(製造業)		S57.1 H5.12	
	○常用雇用指数(全産業)		H6.1	
	常用雇用指数(製造業)	S35.6	S49.12 S57.1 H5.12	
	離職率(製造業)		S50.1-S56.12	
	法人事業税調定額	S41.9	S56.12	
	人件費比率(製造業)	S35.6	S56.12	
	単位労働コスト(製造業)		S57.1 H5.12	
	営業倉庫保管残高	S35.6	S56.12	
	信用保証申込金額		S57.1 H5.12	
	輸入通関実績(八戸港)		S57.1 H5.12	
	○消費者物価指数(総合)		H6.1	
	消費者物価指数(帰属家賃除く)	S39.8	H15.12	
	○県内金融機関貸出残高		H6.1	
	預貸率	S35.6	S56.12	
	○りんご消費地市場価格		H6.1	
○公共工事請負金額		H6.1		

※○印のついた系列は、現時点で採用している系列。

## (4) 季節調整法 X-1 2-ARIMA による ARIMA モデル等一覧

データ名	期間	ARIMAモデル	回帰変数	異常値
家計消費支出（勤労者世帯）	2002-2021	(112) (011)	指定なし	TC2019. Oct
りんご消費地市場価格	2002-2021	(211) (011)	指定なし	A02004. Aug, LS2014. Sep, TC2015. Aug, A02016. Aug, A02018. Aug, LS2020. Aug, LS2021. Sep
青森市消費者物価指数（総合）	2002-2021	(110) (011)	指定なし	A02002. Jun, LS2014. Apr, A02020. May, A02021. Apr

※新規求人倍率、有効求人倍率は、公表された季節調整値をそのまま使用しています。

※鉱工業生産指数は、平成20年1～3月の時点で旧基準との接続を行い、平成16年1月まで遡及した過去時系列（接続指数）を使用しています。

※消費者物価指数（総合）の季節調整値は、家計消費支出（勤労者世帯）の実質化に使用しています。

※最新の季節調整は、令和4年1月分の公表時に遡及して行っています。

<スเปックファイル例>

```
series {
  title="*****"
  start=2002.1
  file="d:\arima\dat\*****.txt"
  span=(2002.1,)
  name=kakei
}
transform{function=log}
arima{model=(1 1 2)(0 1 1)}
regression{variables=(TC2019. Oct
)}
estimate{ }
  forecast{maxlead=60}
x11{appendfcst=yes
  save=(d11 d16)
}
history{estimates=sadjchng}
```

<ARIMAモデルの決定方法及び回帰変数の組合せ等に関する参考文献>

- ① 奥本佳伸（経済企画庁経済研究所編）『季節調整法の比較研究』（大蔵省印刷局 2000.06）
- ② 奥本佳伸『季節調整法センサス局法 X-1 2-ARIMA の適用における日本型曜日調整の有効性』（千葉大学経済研究 第16巻第1号 2001.06）

問い合わせ先

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1

青森県企画政策部統計分析課  
統計情報分析グループ

TEL 017-734-9166 (直通)

E-mail [tokei@pref.aomori.lg.jp](mailto:tokei@pref.aomori.lg.jp)